

### 文字列 -> 数値

Oracle の TO\_NUMBER 関数について、小数点以下桁数や精度については変換関数 decimal(n, p, s) 関数で対応可能なケースがあります。また、文字列から数値への変換などであれば、各種変換関数 (smallint、decimal、double など) を使用して変換できます。たとえば、smallint 型に変換するには次のように指定します。

```
SELECT smallint('12')  
FROM SYSIBM.SYSDUMMY1;
```

### 数値 -> 文字列

DB2 V8 には TIMESTAMP 型を文字列に変換する TO\_CHAR 関数、文字列を TIMESTAMP 型に変換する TO\_DATE 関数があります。フォーマット形式は、「YYYY-MM-DD HH24:MM:SS」のみです。多様な変換形式を持つ Oracle の同名の関数と DB2 V8 の関数を 1:1 で置き換えるのは困難なことです。移行の必要がある場合は、UDF を作成して対応してください。

### 直接マッピングできる関数

関数	互換性
ABS	
ASCII	
CHAR	
CONCAT	(型に互換性が必要)
COUNT	
LENGTH	(VARCHAR 型と CHAR 型で意味が異なる)
LTRIM	(引数が 1 つの場合のみ)
LOWER	
MAX	
MIN	
MOD	(n = 0 のみ)
POWER	
REPLACE	
SIGN	
RTRIM	(引数が 1 つの場合のみ)
SOUNDEX	
SUBSTR	
SUM	
TRANSLATE	(引数の並びが逆)

UPPER	
USER	

同じ名前でも出力フォーマットが異なる関数

三角関数	ACOS、ASIN、ATAN、ATAN2、ATANH、 COS、COSH、SIN、SINH、TAN、TANH
まるめ・切り捨て	CEIL、FLOOR、ROUND、TRUNC
指数	EXP
対数	LN
平方根	SQRT
平均	AVG

同等機能を持つ異なる名前の関数で対応

Oracle	DB2	互換性
INSTR、INSTRB	LOCATE	(引数4をとらない場合のみ)
LENGTHB	LENGTH	
LOG	LOG10	(定数が10のときのみ)
RAWTOHEX	HEX	
NVL	COALESCE	(DB2では型に互換性が必要)
SUBSTRB	SUBSTR	
SYSDATE	CURRENT DATE	
TO_MULTI_BYTE	VARGRAPHIC	
VSIZE	LENGTH	